

凍霜害 被害園地は、樹全体で着果量の確保を

4/10から4/25にかけて低温遭遇し、凍霜害が確認されております。
 特に被害が大きい園地は、結実確定後、樹全体で着果量を確保するよう努めて下さい。(詳細は裏面をご覧ください)

1. プラム (2回分の防除を掲載)

***プルーンは裏面をご覧ください。**

【第5回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病 (かいよう病)

散布時期	・ 5月10日～5月19日 (第4回定期散布から10日後)	
散布薬剤	水 100ℓ当り	散布日
	展着剤 (ハイテンパワー) 10mℓ	5月 日
	劇モスピラン顆粒水溶剤 25g (前日、3回)	散布量
	劇イカズチWDG 66g (前日、2回)	
アグレプト水和剤 100g (30日前、2回)		
散布量	10aあたり 400ℓ	
注意事項	①アグレプト水和剤は、ぶどう (ワインぶどう含む) にかかると種無し果を生じるので、隣接園にかからないよう散布する。 ②【カイガラムシ類、幼虫対策】アプロードフロアブル1000倍 (14日前、2回) を加用する。	

【第6回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病 (かいよう病)

散布時期	・ 5月20日～5月29日 (第5回定期散布から10日後)	
散布薬剤	水 100ℓ当り	散布日
	展着剤 (ハイテンパワー) 10mℓ	5月 日
	劇バイスロイドEW 33mℓ (14日前、2回)	散布量
	マイコシールド 50g (21日前、3回)	
散布量	10aあたり 500ℓ	
注意事項	①摘果果実は、腐敗病、シンクイムシ類の伝染源になりやすいため、園外へ除去する。 ②葉・果実とも軟弱であり、散布の時間帯・薬液量等十分に注意する	

次面も必ずご覧ください

2. プルーン

【第3回 定期防除】 対象病害虫：黒斑病（かいよう病）、ハダニ類、シンクイムシ類

散布時期	・ 5月10日～5月19日 （落花後の散布から14日後）	
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ アーデントフロアブル 50mℓ （前日、3回） アグレプト水和剤 100g （30日前、2回）	散布日 5月 日 散布量 ℓ
散布量	10aあたり 400ℓ	
注意事項	①アグレプト水和剤、アグリマイシン100は、ぶどう（ <u>ワインぶどう含む</u> ）にかかると種無し果を生じるので、隣接園にかからないよう散布する。 ②【カイガラムシ類幼虫対策】アプロードフロアブル1000倍（14日前、2回）を加用する。	

3. 凍霜害に遭い、結実が悪い場合の対応

- ・ とりあえず予備摘果を行わず、樹全体で着果量を確保する。
- ・ 1果そうに2果結実している場合でも摘果せずに、着果量を確保する。
- ・ かん水を実施する。

4. 着果管理について

- 品種では、秋姫⇒大石早生⇒菅野中生⇒貴陽⇒太陽などの順に5月中旬頃から（結実状況を確認の上）
- ・ 予備摘果→仕上げ摘果→見直し摘果
 - ・ 園内が暗くなりやすいので新梢の整理を行なって下さい。
 - ・ ふくろみ病の果実は翌年への越冬菌増加に繋がりますので、園外へ除去して下さい。

予備摘果（基礎資料）

時 期	摘果の程度	備 考
満開～30日頃 (果実の細胞数の増加期)	大石早生、静香……最終着果量の2～3割増 太陽、貴陽 …… // 3～4割増	生理落果 少 // やや多

	残す果実	落とす果実
方 法	①品質本来の形、正常果 ②果実が大きく縦長なもの ③果梗が太く、緑色の濃いもの ④着果位置が横向きか下向きなもの	①変形果、傷果、病虫害果 ②着果位置が上向きなもの （日焼け、傷果が発生する）

次回特報発行予定日：5月17日 問合せ先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）